

令和5年第10回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和5年10月31日（火曜日） 午後1時42分から3時48分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・馬場優子・芳澤佐織
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 滝沢淳・教育部参事 長嶋伸一・教育総務課長 野口重昭・学校教育課 利根川典正・学校教育課副参事 下ノ坊圭・生涯学習課長 中條智則・文化財担当主幹 松本尚也
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	なし
会議資料の名称	会議次第、教育長報告

議題及び決定事項等

議案なし

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

○校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 官学連携の一環で城西大学において、文化財の講義を行ったというが、大学のカリキュラムの一環なのか、または、セミナーのような位置づけで行っているのか。

(文化財担当主幹) セミナーのような位置づけである。学生たちに文化財行政の講義を行い、市内の文化財を巡り、今後の文化財行政について話し合ってもらおうというものである。文化財を活用したまちおこしといった観点から、地域経済について学んでいる学生を対象に実施している。

(委員) 学生たちの姿勢はどうであったか。

(文化財担当主幹) こちらから様々な投げかけを行い、それに対する質問はきている。

文化財をどのように観光で生かせるかなど、学生の発想で意見がもらえればと思っている。

(委員) 少子化により、大学も学生集めに苦慮している。今後もさらに官学連携を進めていったほうがよいと思う。

(教育長) 市全体で連携に取り組んでおり、城西大学の外にも駿河台大学や埼玉女子短期大学などとも連携しているところである。

(委員) お互いの利益になるような取組となればよい。

(生涯学習課長) ひ・まわり探検隊の探検教室などでも大学には協力をいただいている。

(委員) 給食費の債権について、市が債権者ということか。

(教育部長) 給食の食材費については、以前は、校長が債権者となっていたが、現在は市の歳入・歳出予算に組み込み市が債権者となって、保護者から徴収している。歳入・歳出予算にしたことにより、歳入に関わらず、歳出は 100 パーセント執行できる状態となっている。

(委員) 市が債権者で、保護者が債務者ということか。

(教育部長) そのとおりである。給食提供の申し込みを行ってもらっている。

(委員) 滞納したまま卒業した場合はどうなるのか。

(教育部長) 卒業後も徴収を続けていく。

(委員) 生活保護や就学援助を受けている家庭は給食費無償となるので、支払いは可能であると思われる。

(委員) 令和 6 年度から子ども医療費を現在の 15 歳から 18 歳まで拡大するとあるが、拡大することによって費用はどの程度見込んでいるのか。また、財源はどうするのか。

(教育部長) 財源は一般財源で、拡大分は 3,000 万円程度を見込んでいるようである。

(委員) インフルエンザワクチンについて、日高市は中学 3 年生のみが補助の対象であるが、他市では中学 3 年生まで補助しているところもある。

(教育長) 市町村によって対策に差が出ている。所沢市では給食費無償化に舵を切っているところである。

(委員) インフルエンザは治療薬があるので、全てに補助を出さなくてもよいと思う。

(委員) 現時点では、新型コロナウイルスよりもインフルエンザの方が流行している。2 種類のウイルスが同時に流行することはあまりない。ウイルスは細胞に侵入して感染するので、他のウイルスが入れなくなるからである。予防するには換気を行うことである。口内が乾燥するとウイルスが侵入しやすくなるので、水分補給も大切である。

(委員) 学級閉鎖の人数の基準はあるのか。

(委員) 目安は 15% であるが、拡大を食い止めるために閉鎖するので、感染の状況や教室のレイアウト、兄弟関係などを考慮して、総合的に判断している。

(委員) 廃校となった施設の活用はどのように進めているのか。

(教育部長) サウンディング型市場調査を実施し、企業に活用の調査を行い、市や企業の活用意向をまとめ、地域に意見を聞いているところである。今年度中に計画書をまとめる予定である。

(委員) 教えない教育について、教えられる教育を受けてきた教員が、教えない教育を実践できるのか。具体的に指南しなければならないのではないか。

(教育長) 授業の視察に行くと、教えすぎている。もう少し子どもに考えさせ、待つてあげたほうがよいと感じる。

(委員) 要領よくできる優秀な教員なら対応できるが、全員が教えない教育を実践するには、今のカリキュラムでは時間に余裕がないのではないか。校長など管理職が主体性をもって、教員を指導しなければならない。今の教員が育ってきた社会背景も考慮する必要がある。

(委員) 幼稚園、保育園との連携について、民間や公立もあり難しいとは思いますが、具現化していかなければならない。雰囲気ができるまで10年、効果が出るのに25年かかるかもしれないが、小中一貫だけでなく幼保から連携していけば日高市の強みになると思う。

(委員) 文化財の発掘状況はいかがか。

(文化財担当主幹) 現在は大規模な発掘調査は行っていないが、発掘したものを整理し調査報告書をまとめて文化庁に提出しなければならない、そこに時間がかかっている。

(委員) なかよし運動会、なかよし音楽会について、保護者の応援の駐車場は確保できないのか。

(教育長) 平日の場合、市役所の駐車場が利用できない。別の場所を確保するのに苦慮している状況である。

(委員) マラソンの小山選手がオリンピックに内定した。大会当日パブリックビューイングなどを実施するなら、駐車場の確保を含めて早めに準備を進めたほうがよい。

(委員) 高麗中学校の体育祭に行ったが、半日の日程であった。また、来賓のあいさつはなく、紹介のみであった。よいことだと思う。

(委員) 冬季になると日が短くなり、帰宅する頃には真っ暗になってしまう地域もある。街路灯の設置については、どのようにすればよいのか。

(教育部長) 一般的には区長要望を通じて出してもらっている。通学路点検での危険箇所についても対応をしている。また、義務教育学校高麗小中学校を開設することに伴い、利用する校舎の高麗中学校周辺に暗い部分があるため、街路灯を設置する予定である。

(委員) 今年はクマの出没が多く、近隣でも目撃情報がある。ツーデーウオークも控えている。気を付けたほうがよい。

(教育部長) 引き続き随時情報発信を行っていく。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案なし

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○11月定例会：11月29日（水曜日）午後1時40分から 委員了承

○12月定例会：12月21日（木曜日）午後1時40分から 委員了承

上記会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するために下記に署名する。

令和 年 月 日

教 育 長

教育長職務代理

委 員

委 員

委 員

書 記
